

平成28年12月定例会 一般質問 県民 井上 航 議員  
 <一般質問後における取組状況について>

**【質問項目】**

5 理化学研究所との連携について

**【答弁者（担当部局）】** 知事（産業労働部）

**【現在の担当課所室】** 先端産業課

**【一般質問後における取組状況】**

※ 一般質問後における取組状況を回答欄に記載してください。

**<回答欄>**

- 今年度、県では、理化学研究所の研究成果を用いた「農薬削減用LED光源」の開発を支援している（補助上限額 2,000 万円、補助率 10/10）。
- 「農薬削減用LED光源」は、狭山市に研究開発拠点を置く株式会社タムラ製作所が理化学研究所と連携して開発しており、特定の波長の紫外線を照射することにより、農作物（特にイチゴ）の免疫機能を向上させ、病害虫を抑制しようとするものである。
- 順調に行けば、来年夏ごろにはLED光源が完成し、県農業技術研究センターなどで実証試験が開始できる見込みである。
- また、今年3月に県内工業高校の教員等を対象として理化学研究所のIT技術に関するセミナーを開催した（県、理化学研究所、和光市の共催）。
- その後、理化学研究所の研究者が川越工業高校を訪問して独自のソフトウェアを提供し、そのソフトウェアが授業で活用されるなど実際に連携が進んでいる。
- 今後、一層連携が進むよう理化学研究所との打合せを頻繁に行っている。